

手遅れになるまえに相談を!

専門家が秘密厳守で相談にのってくれます。

友だちから誘われて
困っているんだ…

仲間外れに
なりたくなくて…

この間、
ノリで使ったやつ
薬物だったら
どうしよう…

毎日が辛くて、
このままだと薬物に
手を出してしまいそう…



薬物について相談できる窓口はこちら

北海道	北海道厚生局麻薬取締部	☎011-726-1000	近畿厚生局麻薬取締部神戸分室	☎078-391-0487	
	北海道医務業務課	☎011-204-5265		福井県医薬食品・衛生課	☎0776-20-0347
	北海道立精神保健福祉センター	☎011-864-7121		福井県総合福祉相談所	☎0776-24-7311
	札幌こころのセンター	☎011-622-0556		滋賀県業務課	☎077-528-3634
東北	東北厚生局麻薬取締部	☎022-227-5700	滋賀県立精神保健福祉センター	☎077-567-5010	
	青森県医療業務課	☎017-734-9289		京都府業務課	☎075-414-4790
	青森県立精神保健福祉センター	☎017-787-3951		京都府精神保健福祉総合センター	☎075-641-1810
	岩手県健康国保課	☎019-629-5467		京都市こころの健康増進センター	☎075-314-0355
関東信越	岩手県精神保健福祉センター	☎019-629-9617	大阪府業務課	☎06-6941-9078	
	宮城県業務課	☎022-211-2653		大阪府こころの健康総合センター	☎06-6691-2811
	宮城県精神保健福祉センター	☎0229-23-0021	大阪府こころの健康センター	☎06-6922-8520	
	仙台市精神保健福祉総合センター	☎022-265-2191		堺市こころの健康センター	☎072-245-9192
	秋田県医療業務課	☎018-860-1407	兵庫県業務課	☎078-362-3270	
	秋田県精神保健福祉センター	☎018-831-3946		兵庫県精神保健福祉センター	☎078-252-4980
	山形県健康福祉企画課	☎023-630-2333	神戸市健康福祉センター	☎078-371-1900	
	山形県精神保健福祉センター	☎023-624-1217		奈良県業務課	☎0742-27-8664
	福島県業務課	☎024-521-7233	奈良県精神保健福祉センター	☎0744-47-2251	
	福島県精神保健福祉センター	☎024-535-3556		和歌山県業務課	☎073-441-2663
	関東信越厚生局麻薬取締部	☎03-3512-8690	和歌山県精神保健福祉センター	☎073-435-5194	
	関東信越厚生局麻薬取締部横浜分室	☎045-201-0770		中国四国厚生局麻薬取締部	☎082-228-8974
	中国	茨城県業務課	☎029-301-3388	鳥取県医療・保険課	☎0857-26-7203
		茨城県精神保健福祉センター	☎029-243-2870		鳥取県立精神保健福祉センター
		栃木県業務課	☎028-623-3119	島根県薬事衛生課	☎0852-22-5259
		栃木県精神保健福祉センター	☎028-673-8785		島根県立心と体の相談センター
群馬県業務課		☎027-226-2665	岡山県医薬安全課	☎086-226-7341	
群馬県こころの健康センター		☎027-263-1156		岡山県精神保健福祉センター	☎086-201-0828
埼玉県業務課		☎048-830-3633	岡山市こころの健康センター	☎086-803-1273	
埼玉県立精神保健福祉センター		☎048-723-3333		広島県業務課	☎082-513-3221
さいたま市こころの健康センター		☎048-762-8548	広島県立総合精神保健福祉センター	☎082-884-1051	
千葉県業務課		☎043-223-2620		広島市精神保健福祉センター	☎082-245-7731
四国		千葉県精神保健福祉センター	☎043-263-3891	山口県業務課	☎083-933-3018
		千葉市こころの健康センター	☎043-204-1582		山口県精神保健福祉センター
		東京都業務課	☎03-5320-4505	四国厚生支局麻薬取締部	☎087-823-8800
		東京都立中部総合精神保健福祉センター	☎03-3302-7575		徳島県業務課
		東京都立多摩総合精神保健福祉センター	☎042-376-1111	徳島県精神保健福祉センター	☎088-625-0610
		東京都立精神保健福祉センター	☎03-3844-2210		香川県業務感染症対策課
	神奈川県業務課	☎045-210-4972	香川県精神保健福祉センター	☎087-804-5565	
	神奈川県精神保健福祉センター	☎045-821-8822		愛媛県業務衛生課	☎089-912-2393
	横浜市中心の健康相談センター	☎045-671-4455	愛媛県心と体の健康センター	☎089-911-3880	
	川崎市精神保健福祉センター	☎044-200-3195		高知県医事業務課	☎088-823-9682
	相模原市精神保健福祉センター	☎042-769-9818	高知県立精神保健福祉センター	☎088-821-4966	
	新潟県医療業務課	☎025-280-5187		九州厚生局麻薬取締部	☎092-431-0999
	九州	新潟県精神保健福祉センター	☎025-280-0111	九州厚生局麻薬取締部小倉分室	☎093-591-3561
		新潟市こころの健康センター	☎025-232-5560		福岡県業務課
		山梨県衛生業務課	☎055-223-1491	福岡県精神保健福祉センター	☎092-582-7500
		山梨県立精神保健福祉センター	☎055-254-8644		福岡市精神保健福祉センター
長野県薬事管理課		☎026-235-7159	北九州市立精神保健福祉センター	☎093-522-8729	
長野県精神保健福祉センター		☎026-227-1810		佐賀県業務課	☎0952-25-7082
東海北陸厚生局麻薬取締部		☎052-961-7000	佐賀県精神保健福祉センター	☎0952-73-5060	
富山県くすり政策課		☎076-444-3234		長崎県業務行政室	☎095-895-2469
富山県心の健康センター		☎076-428-1511	長崎こども・女性・障害者支援センター	☎095-846-5115	
石川県薬事衛生課		☎076-225-1442		熊本県業務衛生課	☎096-333-2242
石川県こころの健康センター		☎076-238-5761	熊本県精神保健福祉センター	☎096-386-1166	
岐阜県業務水道課		☎058-272-8285		熊本市こころの健康センター	☎096-362-8100
沖縄		岐阜県精神保健福祉センター	☎058-231-9724	大分県業務室	☎097-506-2650
		静岡県業務課	☎054-221-2413		大分県こころからの相談支援センター
		静岡県精神保健福祉センター	☎054-286-9245	宮崎県医療業務課業務対策室	☎0985-26-7060
		静岡市こころの健康センター	☎054-262-3011		宮崎県精神保健福祉センター
	浜松市精神保健福祉センター	☎053-457-2709	鹿児島県業務課	☎099-286-2804	
	愛知県医薬安全課	☎052-954-6305		鹿児島県精神保健福祉センター	☎099-218-4755
	愛知県精神保健福祉センター	☎052-962-5377	九州厚生局沖縄麻薬取締支所	☎098-854-0999	
	名古屋市精神保健福祉センター	☎052-483-3022		沖縄県衛生業務課	☎098-866-2055
	三重県業務感染症対策課	☎059-224-2330	沖縄県立総合精神保健福祉センター	☎098-888-1443	
	三重県こころの健康センター	☎059-223-5241		●全国各保健所	
	近畿	近畿厚生局麻薬取締部	☎06-6949-3779	●各都道府県警察署	

厚生労働省

〒100-8916
東京都千代田区霞が関 1-2-2
TEL:03-5253-1111 (代表)

薬物乱用問題についてさらに詳しくは
厚生労働省ホームページをご覧ください。

厚生労働省 薬物乱用

検索

QRコードで
携帯電話でも
ご覧いただけます。
(2020年度版)



学生のみなさんへ

薬物大麻の こと 誤解して危険! こと です!



薬物は脳に ダメージを与えます。

私たちの脳は、すごいスピードで情報を処理し、心と身体をコントロールする優れた仕組みを持っています。しかし、**薬物を乱用すると脳の仕組みにダメージ**を与え、乱用が続けられるなかで様々な障害を引き起こします。

そして、一度ダメージを与えられた脳は、薬物を使う前の状態には戻らなくなってしまいます。

主な脳への障害

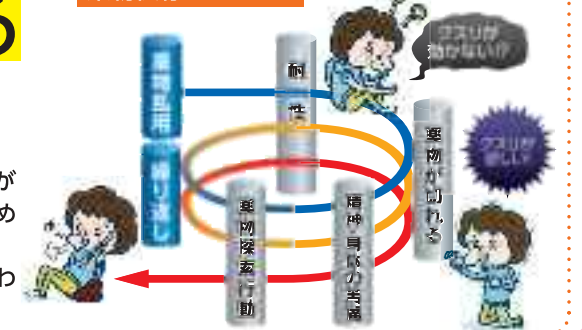


薬物はやめられなくなる から危険!

薬物は乱用を続けると「**耐性**」ができて同じ量では効かなくなり、使用量が増えていきます。また「**依存性**」によって、自分の意志だけではやめたくてもやめられなくなってしまいます。

薬物をやめ、通常の社会生活をするまで回復するためには、生涯にわたって適切な治療や周囲のサポートが必要になります。

薬物依存のサイクル



厚生労働省



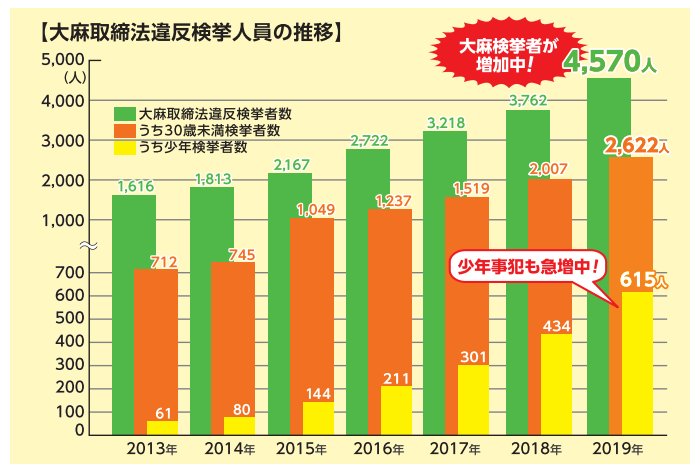
文部科学省

いま、危険度が増しているのは大麻です!

若者の検挙者が急増中!

ここ数年、大麻による検挙者が急増しています。2019年には大麻の検挙者数は過去最多の4,570人となり、そのうち半数以上は30歳未満の若者でした。なかでも**急増しているのが少年**で、2019年には6年前の10倍以上となる615人が検挙されています。

その原因の一つとしてインターネット等に氾濫している**大麻についての間違った知識や情報が影響**していることが考えられており、注意が必要な状況です。



出典：厚生労働省・警察庁・財務省・海上保安庁の統計資料より

大麻は身体への悪影響はない? → NO 有害です!

インターネット等で、「大麻は身体への悪影響がない」「依存性がない」などの誤った情報が氾濫しています。しかし、実際には大麻を乱用すると、大麻の花や葉に含まれる成分「THC(テトラヒドロカンナビノール)」が脳に作用して下図のような様々な不具合を引き起こします。**特に成長期にある若者の脳に対して影響が強い**ことも判明しています。間違った情報に流されず、正しい知識で判断しましょう!

大麻の乱用による影響			大麻の有害性		大麻を長く使い続ける影響
知覚の変化	学習能力の低下	運動失調	精神障害	IQ(知能指数)の低下	薬物依存
時間や空間の感覚がゆがむ	短期記憶が妨げられる	瞬時の反応が遅れる	統合失調症やうつ病を発症しやすくなる	短期・長期記憶や情報処理速度が下がる	大麻への欲求が抑えられなくなる

海外で合法だから大麻は安全? → NO 間違いです!

大麻について「海外では合法的な国があるから安全だ」という主張を耳にすることがあるかもしれません。しかし、薬物を取り巻く環境は日本と海外では大きく違います。法律などの規則はそれぞれの国の事情や背景をもとに作られているため、「海外で合法だから大麻は安全」ということではありません。

大麻の所持や使用が犯罪にならない国や地域であっても、**大麻の有害性の影響を大きく受ける未成年の所持や使用は禁じられています**。間違った主張に流されないようにしましょう!



SNSでの薬物の誘いに注意!

近年、薬物が密売買される手段として危険が拡大しているのがSNSです。SNS上では大麻を意味する隠語などが使われ、大麻などの購入を促す内容が多く投稿されています。実際に未成年の学生がSNSを通して売人から大麻を購入した事件が複数報告されており、大きな問題となっています。

SNSを通して薬物の売人と関わることは、多くの危険を伴います。もし、そのような投稿を見つけても誘いに乗らないようにしましょう。

大麻の加工品や大麻を含んだ食品に気をつけて!

大麻から成分を抽出した「大麻リキッド」や「大麻ワックス」など新しいタイプの加工品の摘発も増加しています。また、海外でお土産として売られているチョコレートやクッキー、キャンディなどの中に**大麻が含まれている**ことがあります。誤って口にして体調不良で救急搬送された事例も発生しているので十分に注意しましょう。



大麻や覚醒剤などの薬物は、誰かに渡したり、持っているだけでも法律によって厳しく罰せられます。

大麻所持・譲渡	覚醒剤所持・譲渡	コカイン・MDMAなど所持・譲渡	ヘロイン所持・譲渡	指定薬物所持・譲渡	あへん所持・譲渡
大麻取締法 5年以下の懲役	覚醒剤取締法 10年以下の懲役	麻薬及び 向精神薬取締法 7年以下の懲役	麻薬及び 向精神薬取締法 10年以下の懲役	医薬品医療機器等法 3年以下の懲役もしくは 300万円以下の罰金	あへん法 7年以下の懲役
大麻	覚醒剤	コカイン	MDMA		

薬物の誘いに、きっぱりNo!と断る勇気を!

薬物を乱用するきっかけは「友人からの誘い」が多いということが報告されています。言葉で断れる場合は**勇気をもってきっぱり断る**ことが大切です。でも、身近な友人から誘われた場合には「仲間外れにされるのが怖い」などの理由で、断りづらいつと感ずるかもしれません。そんな時は、とにかくその場から立ち去りましょう。**立ち去ることも勇気**です。

一人で問題を抱え込まないで、信頼できる大人や専門の窓口にご相談ください。

